

結果の概要Ⅱ

2 市町別人口

(1) 総人口

推計人口を市町別にみると、浜松市が 796,114 人で最も多く、次いで静岡市の 699,087 人と続き、この両市で県人口の 40.7%を占めている。

前年に比べ人口が増加したのは 5 市町で、増加数は長泉町の 312 人が最も多く、増加率でも長泉町の 0.73%が最も高くなっている。

一方、人口が減少したのは 30 市町で、減少数は静岡市の 2,716 人が最も多く、減少率では西伊豆町の 3.10%が最も高くなっている。

図 7 市町別人口増減率（平成 29 年 10 月 1 日現在 対前年比）

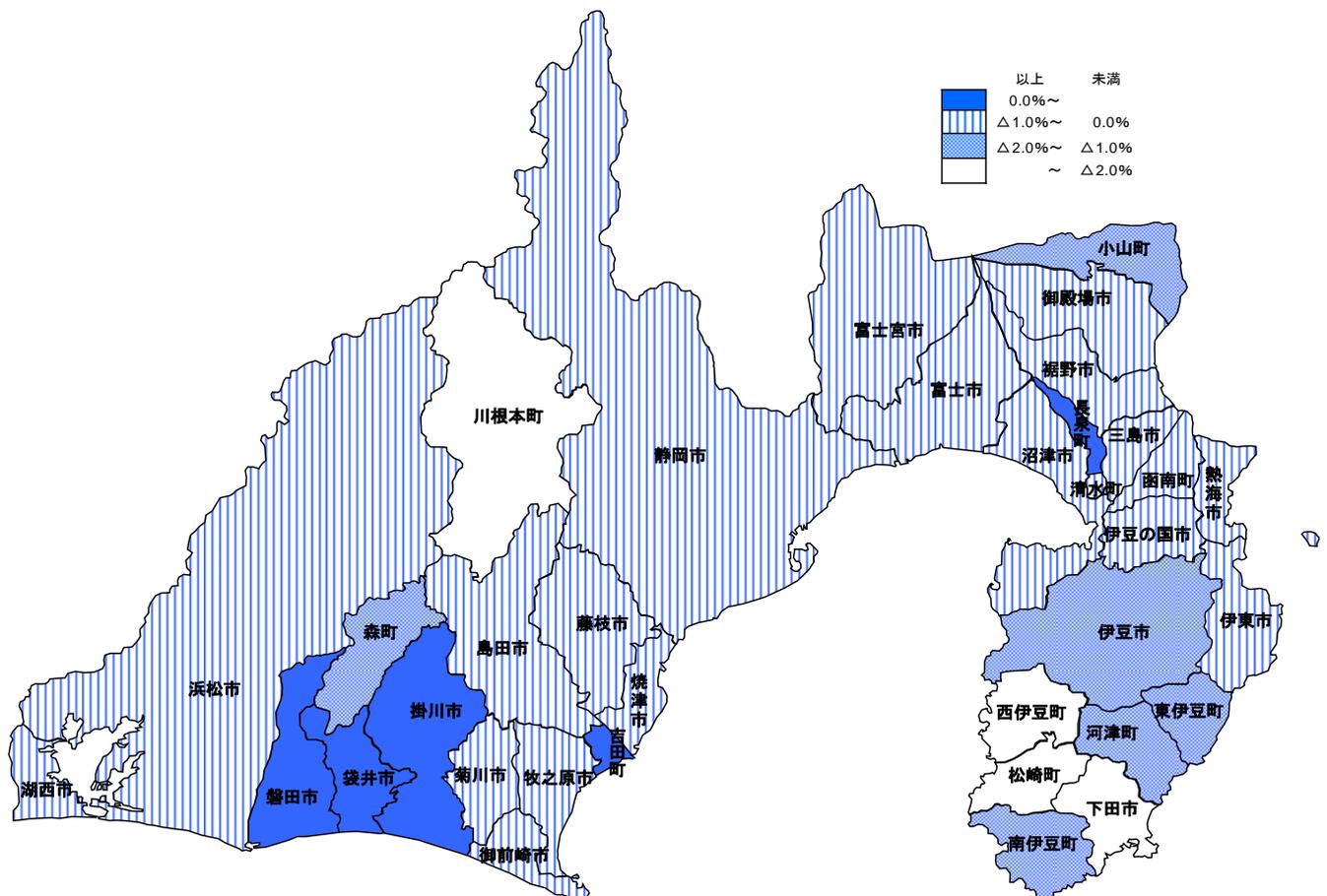


表 3 人口増減の大きい市町

順位	増加数(人)		順位	増加率(%)		順位	減少数(人)		順位	減少率(%)					
1	長泉町	312	2	1	長泉町	0.733	1	1	静岡市	2,716	1	1	西伊豆町	3.10	2
2	袋井市	194	1	2	袋井市	0.225	3	2	沼津市	1,800	2	2	川根本町	2.99	1
3	掛川市	157	3	3	掛川市	0.137	5	3	浜松市	1,050	4	3	松崎町	2.56	3
4	磐田市	148	-	4	磐田市	0.089	-	4	富士市	907	3	4	下田市	2.03	4
5	吉田町	1	-	5	吉田町	0.003	-	5	焼津市	781	5	5	南伊豆町	1.79	8
※当年増加市町数 5						6	島田市	636	10	6	東伊豆町	1.73	6		
※前年増加市町数 6						7	伊東市	617	6	7	河津町	1.61	9		
(注) ■ 内の数字は前年の順位(「-」は減から増へ変化)						8	伊豆市	456	8	8	伊豆市	1.48	5		
						9	下田市	455	11	9	森町	1.39	7		
						9	三島市	455	28	10	小山町	1.15	10		

(2) 自然動態

2市町で増加し、増加数は袋井市が127人で最も多く、増加率では長泉町が0.16%で最も高くなっている。一方、33市町で減少となり、減少数は静岡市が2,953人で最も多く、減少率では西伊豆町が2.09%で最も高くなっている。

表 4 自然増減の大きい市町

順位	増加数(人)		順位	増加率(%)		順位	減少数(人)		順位	減少率(%)					
1	袋井市	127	3	1	長泉町	0.16	1	1	静岡市	2,953	1	1	西伊豆町	2.09	1
2	長泉町	69	1	2	袋井市	0.15	4	2	浜松市	1,665	3	2	川根本町	1.80	2
※当年増加市町数 2						3	沼津市	1,121	2	3	松崎町	1.72	5		
※前年増加市町数 5						4	伊東市	736	4	4	南伊豆町	1.60	4		
(注) ■ 内の数字は前年の順位(「-」は減から増へ変化)						5	富士市	728	8	5	熱海市	1.57	6		
						6	焼津市	613	6	6	東伊豆町	1.45	7		
						7	熱海市	583	5	7	河津町	1.37	3		
						8	島田市	504	7	8	下田市	1.36	9		
						9	藤枝市	487	14	9	伊豆市	1.14	8		
						10	磐田市	448	16	10	伊東市	1.09	10		

(3) 社会動態

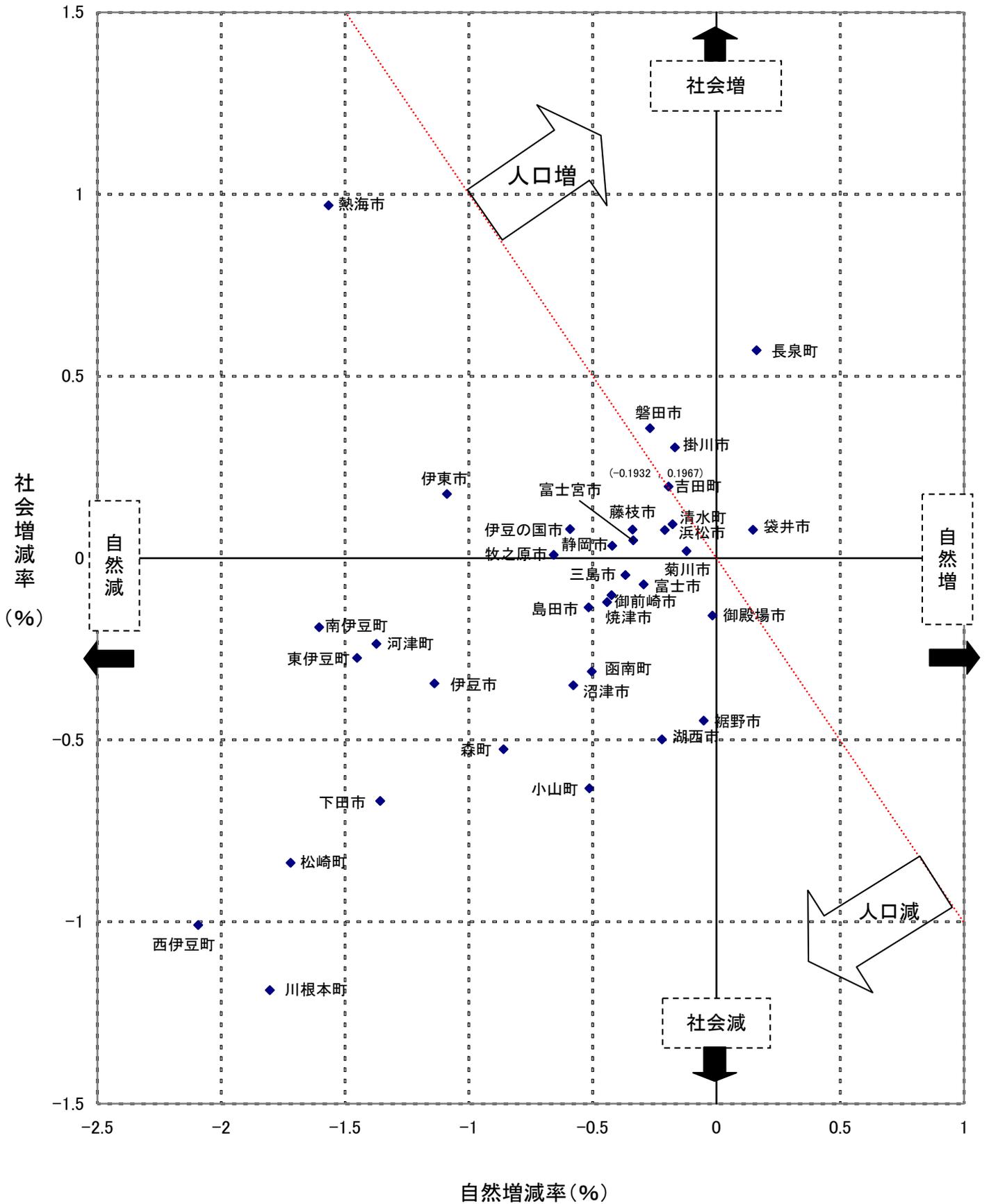
15市町で増加し、増加数は浜松市が615人で最も多く、増加率では熱海市が0.97%で最も高くなっている。一方、20市町で減少となり、減少数は沼津市が679人で最も多く、減少率では川根本町が1.19%で最も高くなっている。

表 5 社会増減の大きい市町

順位	増加数(人)		順位	増加率(%)		順位	減少数(人)		順位	減少率(%)					
1	浜松市	615	7	1	熱海市	0.970	1	1	沼津市	679	1	1	川根本町	1.19	1
2	磐田市	596	-	2	長泉町	0.571	10	2	湖西市	295	3	2	西伊豆町	1.01	9
3	熱海市	361	4	3	磐田市	0.357	-	3	裾野市	234	5	3	松崎町	0.84	6
4	掛川市	349	1	4	掛川市	0.304	5	4	富士市	179	4	4	下田市	0.67	2
5	長泉町	243	9	5	吉田町	0.197	-	5	焼津市	168	7	5	小山町	0.63	3
6	静岡市	237	-	6	伊東市	0.176	-	6	下田市	150	9	6	森町	0.53	8
7	伊東市	119	-	7	清水町	0.093	4	7	御殿場市	139	14	7	湖西市	0.50	4
8	藤枝市	112	3	8	伊豆の国市	0.079	-	8	島田市	132	24	8	裾野市	0.45	5
9	袋井市	67	2	9	藤枝市	0.078	8	9	小山町	122	10	9	沼津市	0.35	13
10	富士宮市	63	-	10	袋井市	0.078	3	10	函南町	117	23	10	伊豆市	0.34	7

(注) ■ 内の数字は前年の順位(「-」は減から増へ変化)

図 8 自然・社会増減率による市町の分布



(4) 年齢構成

年齢3区分別の構成割合をみると、年少人口割合が最も高いのは長泉町の16.09%、最も低いのは熱海市の6.63%で、その差は9.46ポイントとなっている。

生産年齢人口割合が最も高いのは長泉町の62.11%、最も低いのは西伊豆町の42.87%で、その差は19.24ポイントとなっている。

老年人口割合が最も高いのは西伊豆町の49.90%、最も低いのは長泉町の21.80%で、その差は28.10ポイントとなっている。

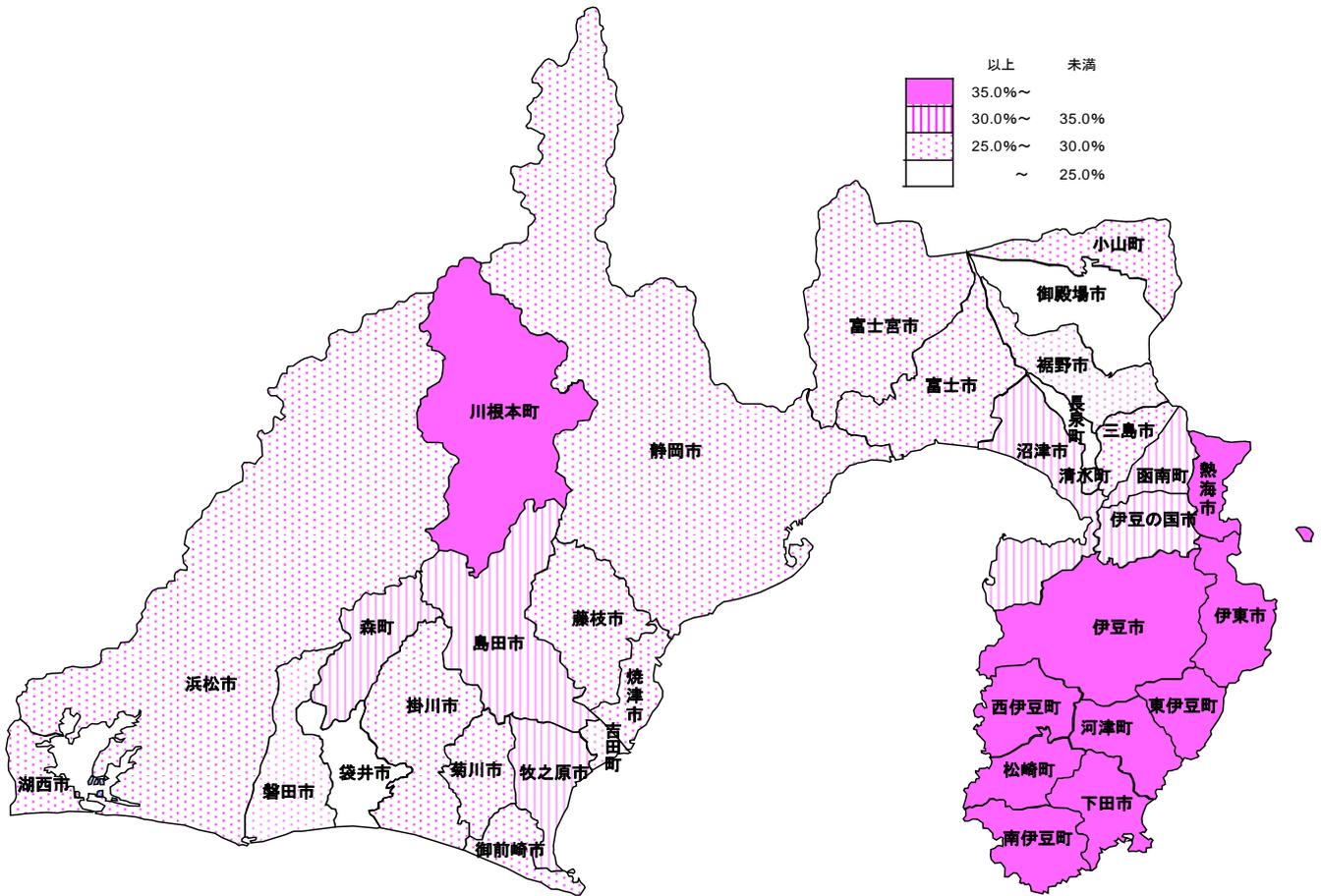
表 6 市町別年齢構成割合

(1) 上位10市町										(単位:%)	
順位	年少人口		順位	生産年齢人口		順位	老年人口		順位		
1	長泉町	16.09	1	1	長泉町	62.11	1	1	西伊豆町	49.90	1
2	袋井市	15.09	2	2	袋井市	61.31	2	2	川根本町	48.38	2
3	御殿場市	14.33	3	3	吉田町	61.21	5	3	熱海市	46.35	3
4	菊川市	14.30	4	4	御殿場市	61.20	3	4	南伊豆町	46.12	4
5	裾野市	14.15	5	5	清水町	60.93	6	5	松崎町	45.38	5
6	掛川市	13.99	8	6	裾野市	60.65	4	6	東伊豆町	45.12	6
7	吉田町	13.67	6	7	小山町	59.99	7	7	河津町	41.94	7
8	清水町	13.65	7	8	湖西市	59.94	8	8	伊東市	41.61	8
9	磐田市	13.56	9	9	富士市	59.45	10	9	下田市	40.85	9
10	浜松市	13.38	10	10	菊川市	59.41	9	10	伊豆市	39.80	10

(2) 下位10市町										(単位:%)	
順位	年少人口		順位	生産年齢人口		順位	老年人口		順位		
1	熱海市	6.63	1	1	西伊豆町	42.87	1	1	長泉町	21.80	1
2	川根本町	6.76	2	2	南伊豆町	44.60	3	2	袋井市	23.60	2
3	西伊豆町	7.23	3	3	川根本町	44.86	2	3	御殿場市	24.47	3
4	東伊豆町	7.68	4	4	松崎町	46.54	4	4	吉田町	25.12	5
5	松崎町	8.08	5	5	熱海市	47.01	5	5	裾野市	25.21	4
6	伊豆市	8.99	6	6	東伊豆町	47.20	6	6	清水町	25.42	6
7	南伊豆町	9.28	8	7	河津町	47.64	7	7	菊川市	26.29	7
8	下田市	9.31	7	8	伊東市	48.82	8	8	掛川市	26.77	8
9	伊東市	9.57	9	9	下田市	49.84	9	9	湖西市	27.07	9
10	河津町	10.42	10	10	伊豆市	51.21	10	10	富士市	27.43	10

(注) ■内の数字は前年の順位

図 9 市町別老年人口割合（平成 29 年 10 月 1 日現在）



(5) 平均年齢

平均年齢が最も高いのは、川根本町の 59.02 歳、最も低いのは長泉町の 42.98 歳で、その差は 16.04 歳となっている。

表 7 市町別平均年齢

(単位:歳)

順位	高い市町		順位	低い市町	
1	川根本町	59.02	1	長泉町	42.98
2	西伊豆町	58.77	2	袋井市	44.31
3	熱海市	56.98	3	御殿場市	44.81
4	松崎町	56.92	4	裾野市	45.22
5	南伊豆町	56.66	5	清水町	45.43
6	東伊豆町	56.32	6	吉田町	45.61
7	河津町	54.36	7	菊川市	45.70
8	下田市	54.33	8	掛川市	46.41
9	伊豆市	54.11	9	磐田市	46.52
10	伊東市	53.97	10	湖西市	46.53

(注) 内の数字は前年の順位

3 地域圏別年齢構成割合

平成29年10月1日現在の年齢3区分別の構成割合を地域圏別にみると、年少人口割合が最も高いのは「志太榛原・中東遠地域」と「西部地域」の13.4%、最も低いのは「伊豆半島地域」の9.3%となっている。

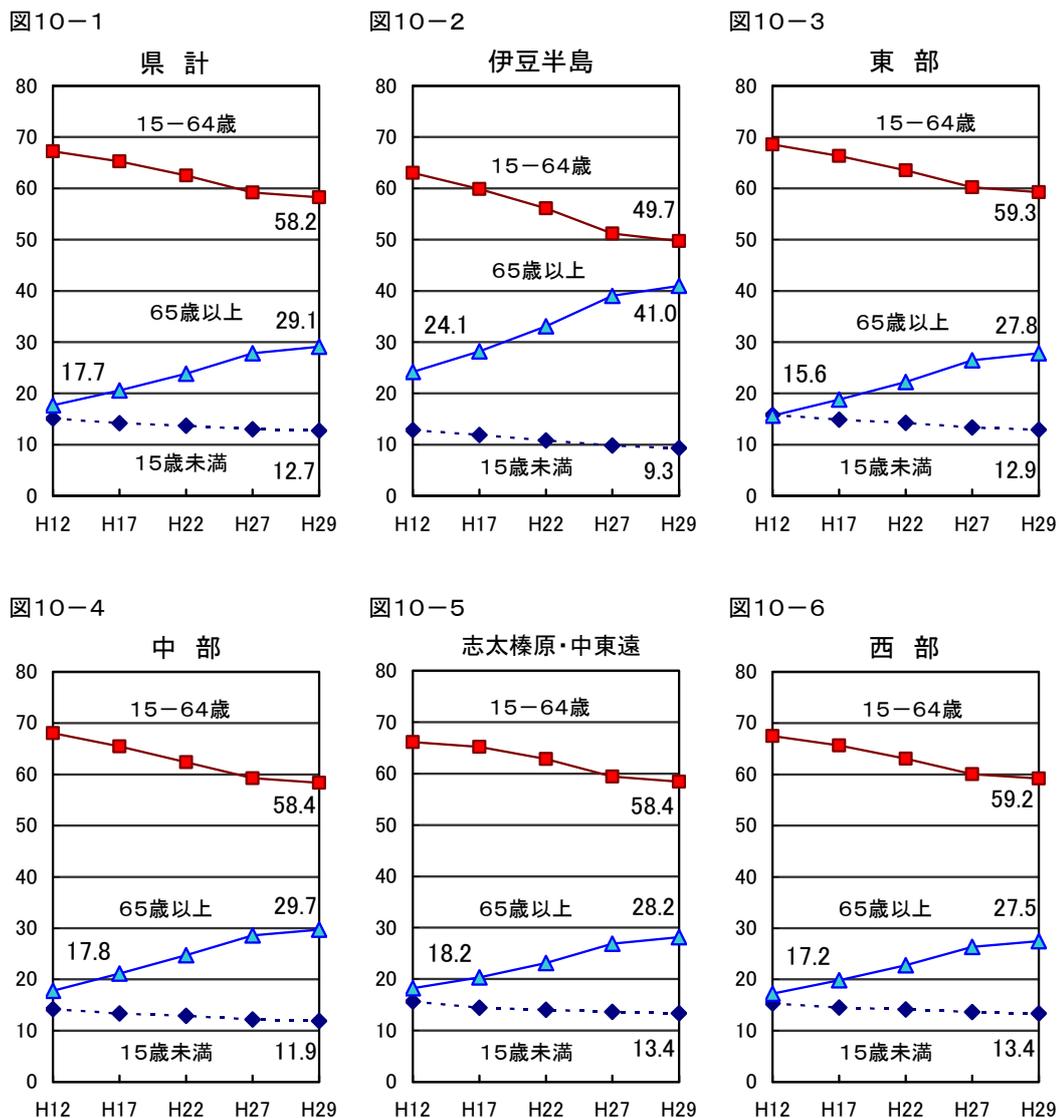
生産年齢人口割合が最も高いのは「東部地域」の59.3%、最も低いのは「伊豆半島地域」の49.7%となっている。

老年人口割合が最も高いのは「伊豆半島地域」の41.0%、最も低いのは「西部地域」の27.5%となっている。

また、老年人口割合を平成12年国勢調査時と比べると、「伊豆半島地域」は16.9ポイント増、「東部地域」は12.2ポイント増、「中部地域」は11.9ポイント増、「志太榛原・中東遠地域」は10.0ポイント増、「西部地域」は10.3ポイント増となっている。

なお、県全体では11.4ポイント増となっている。

図10 地域圏別年齢構成割合の推移



各市町ごとのグラフは統計表に掲載。

4 外国人人口

(1) 総人口

平成 29 年 10 月 1 日現在の本県の外国人人口は、68,787 人で前年に比べ 5,738 人増加し、増加率は 9.1%となっている。

男女別にみると、男 32,600 人、女 36,187 人で、性比は 90.09 となっている。

本県の総人口に占める割合は、1.87%で、前年より 0.16 ポイント増加した。

表 8 外国人人口の推移

年	外国人推計人口(人)			総数の増減率(%)	総人口に占める割合(%)
	総数	男	女		
25年	46,733	20,927	25,806	-11.6	1.26
26年	45,608	20,513	25,095	-2.4	1.23
27年	59,596	27,649	31,947	30.7	1.61
28年	63,049	29,448	33,601	5.8	1.71
29年	68,787	32,600	36,187	9.1	1.87

※平成 27 年の人口は、国勢調査確定値。
※外国人人口には国籍不明の者は含まない。

(2) 市町別人口

外国人人口は、浜松市の 18,105 人が最も多く、外国人人口全体の 26.32%を占めている。

前年に比べ外国人人口が増加したのは 33 市町で、増加数では浜松市の 1,123 人が最も多くなっている。

一方、前年より減少したのは 2 町で、減少数では南伊豆町の 3 人が最も多くなっている。地域圏ごとの総人口に占める外国人の割合は、中東遠地域及び西部地域で高くなっている。

表 9 市町別外国人人口

順位	外国人人口(人)		市町総人口に占める割合(%)		増加数(人)		減少数(人)			
1	浜松市	18,105	1	菊川市	5.53	1	浜松市	1,123	南伊豆町	3
2	静岡市	7,808	2	吉田町	3.88	3	磐田市	749	川根本町	2
3	磐田市	6,220	3	湖西市	3.83	2	静岡市	501	-	-
4	富士市	4,201	4	磐田市	3.72	4	富士市	348	-	-
5	掛川市	3,382	5	袋井市	3.52	5	焼津市	318	-	-

(注) 内の数字は前年の順位

図 1 1 市町別外国人人口割合（平成 29 年 10 月 1 日現在）

